令和元年度　美夫君志会　全国大会　御案内

行事内容ご一覧の上、同封のはがきで（懇親会費は同封の郵便振替用紙にて）六月二十一日㈮までに、お申し込み下さい。

一、招待研究発表会

七月六日㈯　午後一時三十分～午後五時十分
中京大学【図書館・学術棟（一号館）三階　清明ホール】

開会の辞・学会挨拶　美夫君志会会長　菊川恵三
挨　拶　中京大学学長　安村仁志
神々の争ひ　鶴見大学　新沢典子
橘宿祢賜姓を願う表と大伴家持　奈良女子大学　奥村和美
万葉から平安和歌へ　―大きな流れを考えるために―　お茶の水女子大学　浅田徹

二、懇　親　会

七月六日㈯　午後六時～午後八時
名古屋観光ホテル　（名古屋市中区錦一―一九―三〇　電話〈〇五二〉二三一―七七一一）（地下鉄「伏見」⑨番出口）
会費：七〇〇〇円前納

三、研究発表会

七月七日㈰　午前九時三十分～午後四時三十分
中京大学【図書館・学術棟（一号館）三階　一三三教室】

［午前の部］

古事記における日向三代の意義　―叙述形態に着目して―　専修大学（大学院院生）　竹村泰正
近世の用字法における訓仮名の位置づけ　―『古事記伝』の影響に注目して―　同志社大学（大学院院生）　吉岡真由美
音節を利用した潜在的ディリクレ配分法による万葉短歌の分類について　関西大学　電気通信大学　川村右富実　川野秀一

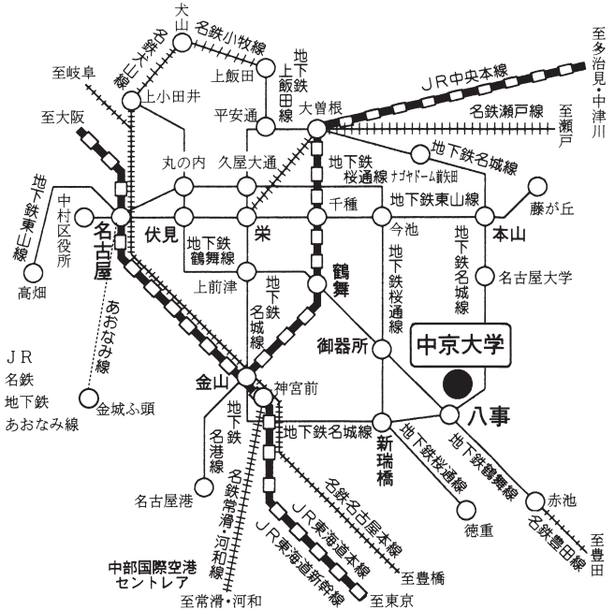
［午後の部］

『万葉集』七夕歌の所伝と応用　―信州松本の七夕短冊書付歌をめぐって―　フェリス女学院大学（非）　太田真理
萬葉びとの心性　―占を詠む歌の解釈を手がかりとして―　愛知淑徳大学　中野謙一
上代日本語の表記・文章再考　―読み手・書き手・分析者の観点からの理論構築―　奈良女子大学　尾山慎
詠まれた時点に歌の解釈を考える　―天平勝宝九歳・天平宝字元年の場合―　梅花女子大学　市瀬雅之

閉会の辞　大会担当理事　大島信生

※発表資料を『資料集』として冊子に致します。当日受付にて、お求めの上《定価千円》、ご利用下さい。
※出張懇請書入用の方は、八十二円切手同封の上、美夫君志会宛に。
※ご連絡は、E-mail か郵便にてお願いいたします。

※中京大学（会場）の所在
（地下鉄「八事」⑤番出口より）



JR利用（地下鉄乗換〈）

・名古屋（東海道本線岡崎・豊橋行）4分→金山〈
・名古屋（中央本線多治見・中津川行）6分→鶴舞〈

地下鉄利用（飛行機で来名の方は中部国際空港（セントレア）から名鉄で金山〈）

〈金山（名城線左回り）16分→八事
〈鶴舞（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）10分→八事
・名古屋←2分（東山線藤が丘行）
伏見（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）15分→八事
・名古屋←4分（東山線藤が丘行）
栄（名城線左回り）23分→八事
・名古屋←14分（東山線藤が丘行）
本山（名城線右回り）5分→八事
・名古屋←14分（桜通線徳重行）
御器所（鶴舞線赤池行・名鉄豊田行）6分→八事
・名古屋←20分（桜通線徳重行）
新瑞橋（名城線左回り）6分→八事

美夫君志会
名古屋市昭和区八事本町一〇一―二
中京大学文学部内
〒466-8666
振替口座　〇〇八二〇―六―五四三七六
E-mail:mifukushi@ml.chukyo-u.ac.jp